

平成 21年 2月 26日

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2072800804		
法人名	(有)創生活環境		
事業所名	ひだまりの里 とよしな		
所在地	長野県安曇野市豊科高家782-2 (電話) 0263-71-5539		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年12月25日	評価確定日	平成21年3月18日

【情報提供票より】(20年 11月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤7人	非常勤5人 常勤換算6.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	6万5千円	その他の経費(月額)	2万 円
敷 金	19万5千円		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,350 円

(4) 利用者の概要 (11月 1日 現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	1名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5	1名	要支援2	
年齢	平均 86.6 歳	最低 81 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・この内科循環器科・飯田歯科医院・野中眼科医院・安曇野日赤病院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームひだまりの里とよしなの特徴の一つは、同運営母体による通所介護、集皆所ひだまり・子育て支援育(そだち)が隣接しているところにある。そのため世代間交流が日常生活の中で可能になっており、家族的な雰囲気を提供することができる。ホームは木を多く使って建築されている為、木のぬくもりを感じることができる。また共用空間の採光も良く、明るい落ち着いた雰囲気の中で共にゆったりと時を過ごすことができる。もう一つの特徴は、できるだけホームで暮らしつづけることができるように、医療機関との連携に努力するなど終末期ケアにも取り組んでいるところにある。終の住み家としてのグループホームのあり方を、日々探求している前向きな姿勢がうかがえる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年度外部評価で指摘された「医療連携体制」について、医療機関との連携をさらに整え、利用者が重度化した時の対応や看取りについての実践が可能になるなど、評価結果を生かした改善がなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ほぼすべての項目について、適切な自己評価がされている。また、職員全員で自己評価に取り組むことによって問題点、改善点の共有化にも努力している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を定期的に開催し、ホームでの取り組みについて報告している。会議録は適切に取られ保管されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族向けに、毎月お便りを発行している。施設内に、行事などの写真を掲示して、訪れた家族にも利用者の暮らしがわかるように配慮している。定期的に行われる家族会を通して意見交換も行っている。また、ホームでの行事に合わせて家族会を開き利用者の暮らしの報告にも努めている。苦情相談窓口を設けて、家族からの不満、苦情、要望、意見、に対して適切に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の敬老会への招待をうけて参加したり、地域の方の訪問を快く受け入れたりしている。ホーム前の畑で耕作する人たちとのコミュニケーションもある。地域と関わりを密にして、地域との相互協力関係の構築に努力している。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	大家族的な雰囲気の中で、個人の意志を尊重し、より人間的な生き方を求め、思いやりの心を持って社会に貢献する。また地域、家族、職員の連携により利用者と共に支えあいながら生活環境の向上をはかる、と言う理念がつけられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の現場における利用者へのサービス提供の実践の中で、理念を理解し、共有することに心がけている。また、新規職員に対する指導、現任職員に対しても継続的な振り返りなどに努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会への招待をうけ参加したり、地域の方の訪問を快く受け入れている。地域と関わりを密にして、地域との相互協力関係の構築に努力している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度外部評価で指摘された「医療連携体制」について、医療機関との連携をさらに整え、重度や看取りについての実践が可能になるなど、評価結果を生かした改善がなされている。		

グループホームひだまりの里とよしな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を定期的に関き、取り組みについて報告している。会議録は適切に取られ保管されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>同地区内の民生委員の視察研修などの受け入れや一般住民向けの認知症講座などの依頼があり受け入れている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族向けに毎月お便りを発行し報告している。また施設内で行事などの写真について掲示するなど、訪れた家族に利用者の暮らしぶりがわかるように配慮している。ホームでの行事に合わせて家族会を開き情報提供にも努めている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口を設け、家族からの不満、意見、苦情に対して適切に対応している。定期的に行われる家族会を利用して意見交換も行っている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職等やむをえない事情による在籍職員の異動はあるが、不必要な職員配置の変更がされないよう配慮している。利用者や職場内の不安やストレスを声かけや説明、異動後の問題解決に向けた話し合いや、検討をおこなっている。</p>		

グループホームひだまりの里とよしな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>短期(採用時1年単位)と長期(5年単位)の研修プログラムを作成し、個人のスキルアップを図るなど、職員研修体制づくりに努力している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>松本圏域グループホーム連絡会を作り交流している。また他施設との交換実習や相互評価をおこなっている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>基本的には、契約、入居後サービス開始となるが、本人の状況により、通いや短期入所が可能であれば徐々に馴染めるように対応するなど配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者一人ひとりのできることを見定めながら、できることはお願いするなど、一方的なサービスの提供ではなく、ともに暮らすというスタイルを大事にしている。</p>		

グループホームひだまりの里とよしな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの利用者との対話の中から、思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。意思表示が困難な場合には、家族等からの情報に基づき、本人の思いを推察している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族からの情報をもとに、職員各自が課題を出し合い、ケアカンファレンスによる合議を通じて介護計画書を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>規定の見直し期間に従った頻度で介護計画の見直しが実施されている。それを待たずに利用者の状況が変化した場合、再アセスメントを行い、適切に計画の修正が実行されている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ホームは入所機能を所持するのみであるが、隣接する同経営母体の通所介護サービス事業所との連携によって多様なサービスの提供がされている。</p>		

グループホームひだまりの里とよしな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者および家族の希望を第一として、かかりつけ医への受診支援を行っている。また、家族と協力医の関係を密になるように職員を含めた三者の関係作りに努めている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した時や終末期のケア内容について、早期から医師を含めたカンファレンスをおこない、職員全員で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報等の取り扱いには十分に注意し、本人の自尊心を尊重した対応、言葉かけをおこなっている。集団的な関わりの中で、個人の尊厳が損なわれないように、支援に対しての対応や言葉を日々注意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>原則として本人のペースに合わせた生活を提供しているが、集団生活のなかで完全な個人の自由な生活は提供できていないことも時々ある、との意見が出された。</p>		<p>個人の思いと、集団での暮らしを照らし合わせ、今以上に個人のペースを大切にしていくことを期待しています。</p>

グループホームひだまりの里とよしな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材整理から食事準備まで利用者が関わることができ、献立の希望や調理方法(味付け)等、利用者の意見を取り入れている。調理する職員の技術向上や、メニューの幅を広げていこうとする意欲も認められる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴希望者に声をかけ、入浴時間と本人の予定との調整をはかっている。職員の業務態勢により、夜間や急な入浴希望には対応できないので、今後も利用者の希望に沿えるように検討している。希望をすべて叶えることは出来ないが、入浴を楽しめるような配慮はおこなっている。		浴室における個浴のための浴槽の位置に多少も問題が認められます。利用者の重度化に対応できるような浴室の整備が必要と思われます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	庭仕事や家事参加から生活の張り合いが生まれている。利用者それぞれの気晴らしや楽しみを日々の時間の中で提供している。今年度のクリスマス会では、ゴスペルグループを招いてパーティーを企画した。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、ドライブ、買い物等希望に沿って外出している。外食も利用者の希望にそっておこなっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけず、見守りを十分おこなうことに努めているが、利用者の状態によっては一部施錠をする箇所がある。		利用者の安全確保を念頭に置き、施錠せずに対応することにさらに努力していくことを期待します。

グループホームひだまりの里とよしな

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地域全戸避難訓練に参加。災害時の地域協力態勢を築けている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量の記録。各利用者の食事、水分摂取の状況を見ながら、適切な支援(栄養補助食品や嗜好に合わせた飲み物の提供)をおこなっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の草花を置いたり、過ごしていても不快にならない環境整備に取り組んでいる。季節によって日照時間が異なるため、カーテンやブラインドを使い光の調節に努めている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が快適に過ごせる居室環境、整備をご家族と共に考え、配慮している。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。